

ひまわり通信 わせだ ゆき 早稲田夕季

no.36 2013年6月号

www.waseda-yuki.jp



神奈川県議会ニュース「ひまわり通信」発行：民主党・かながわクラブ県議団 早稲田夕季事務所／2013年6月1日発行／発行部数：60,000部／配布地域：鎌倉
連絡先：〒248-0012 鎌倉市御成町5-41-2F Tel/Fax: 0467-24-0573 E-mail: wasedayuki@gmail.com

PROFILE

2011～神奈川県議会議員（1期目）
厚生常任委員会・安全安心推進特別委員会
民主党県議団 総務会副会長
2005～鎌倉市議会議員（2期）
1958.12.6 生まれ 白百合学園、早稲田大学法学部卒業
家族 / 夫・長女・長男・母（雪ノ下在住）



H25226 第1回定例会で賛成討論に登壇



H25.5.12 大船まつりに参加

鎌倉の世界遺産不登録はなぜか？～課題を検証～

5月1日ユネスコの諮問機関イコモスから、「武家の古都・鎌倉」については、4段階のうち最低ランクの「不記載（登録不可）」の勧告がなされ、「富士山」については三保松原を除き、「記載（登録）」が勧告されました。これを受けて松尾崇鎌倉市長や黒岩祐治知事らが27日、推薦を取り下げて再挑戦する方針を発表しました。

“世界遺産登録推進にふさわしい景観とまちづくり”のために推進してきた一人として、大変残念な結果です。武家文化の物証不足が主な原因と評価されていますが、文化庁の指導のもとでコンセプトを変えるなどして、課題克服に取り組んできたはずではなかったのでしょうか。

また、私がこれまで取り組んできた「古都にふさわしい景観とまちづくり」における問題が、勧告では「周辺の都市化」という課題で指摘されていました。乱開発の問題が後を絶たず、史跡周辺でのマンション開発や看板の規制、交通渋滞対策、課題は山積みのままです。

再挑戦の掛け声だけでなく、厳しいイコモス勧告を契機として、20年余の時間と税金を投入した世界遺産推進の取り組みをしっかりと検証し、「武家の古都」にふさわしいまちづくりを本気で進めるために、市民と一丸になった取り組みが求められます。



「イコモス勧告仮訳」から抜粋

●価値の証明、完全性、真実性について

（中略）イコモスは、推薦資産の完全性は極めてムラがあると考えます。寺院及びその庭園については比較的良好である。防御に関する要素については、第一に切通しとその環境によって示されている。視覚的一体性については、いたるところに現代の都市環境が存在し、完全性はさらに弱く脆弱である。館跡に関する要素は、限られた数の考古遺跡しかなく、同様のことが言える。さらに、幕府の権力を示す有形の物証は、寺院を除けばほとんどなく、しばしばかなり不明確なものである。（中略）

結論としては、鎌倉における幕府の権力についての知見は、寺院を除いて、多くの要素が遺産に関連して示されているというよりは歴史上のものである。従って、本資産の完全性は、顕著な普遍的価値を証明するのに十分ではない。

●資産に影響を与える要因

イコモスは、都市的圧力（建築物、交通）及び様々な自然環境リスク（地震、津波、嵐、火災）が資産に対する主たる脅威であると考えます。もし観光者による来訪をコントロールすることができなければ、これもまた資産の保全に悪影響を及ぼす圧力となり得る

早稲田夕季が市議会、県議会において質疑・提言してきた「世界遺産登録にふさわしいまちづくり」のダイジェスト

- 商業地域である鎌倉駅周辺や若宮大路の建物の高さ規制（17.9市議会 → 景観地区 15m規制）
- 鎌倉駅周辺の新たな駐輪場の整備（H17.9市議会）
- 観光都市としての清潔な公衆トイレ、観光案内板の整備（H17.12市議会 → 海岸、寺院のトイレ改修）
- 交通問題について。現在のパーク＆ライド以外に、朝比奈方面からの交通渋滞に対応するパーク＆ライドの検討、車の流入の抑制。（H18.9市議会）
- 景観地区において一律15mの高さ規制ではなく、北鎌倉駅周辺は、県道沿いの風致地区の10mの高さ制限に合わせた規制の導入（H19.6市議会）
- 乱開発しにくいまちづくり条例、開発手続き条例への抜本的改正を要望。（H22.2市議会 → 条例改正）
- 世界遺産候補資産の史跡「亀ヶ谷坂」に、無許可で造成されたペット霊園の違反行為の是正、原状回復（H23.6県議会 → 造成のストップ、原状回復、一部未回復あり）
- 鎌倉の県道における歩きやすい歩道整備や無電柱化の推進（H24.9県議会 → 県市の協議会設置）

小袋谷跨線橋(大船立体)工事の現況を報告します

老朽化した小袋谷跨線橋架け替え(大船立体工事)においては、2月にJR横須賀線上部に、3月には小袋谷川上部に橋桁を架設しました。4月には県道小袋谷藤沢線からの側道の車両通行止めを行い、大船体育館横に仮設歩道を設置しています。

現在、仮設橋の杭を立ち上げ、市道大船西鎌倉線につなぐ上部工を設置の工事を行います。これにより幅約12mの新橋(第1期工事)が平成25年度に完成する予定です。

その後、第2期工事として現在の橋を撤去し、新たな橋桁を架設し、鎌倉武道館前の都市計画道路腰越大船線につなぎ、平成27年3月に供用開始予定です。完成時には歩道を備えた14.5mの新橋になります。



H25.5.27 小袋谷跨線橋の工事



藤沢土木事務所 平成23年3月作成

神奈川県政についてアンケートご協力のお願い

■神奈川県地震災害対策推進条例が4月1日施行されました。防災・減災について一番進めるべき対策はなんですか？

- ア 津波対策の強化について イ 公共施設等の耐震化について ウ 住宅の耐震補強について
エ 避難所の防災備蓄について オ その他

ご意見 ()

■イコモスから鎌倉の世界遺産不登録の勧告が出されましたが、市民の皆様はどのように考えますか？

- ア 意外な結果に驚いた。納得できない イ 世界遺産に登録されなくても鎌倉の良さを引き続き存続させたい
ウ 古都らしい景観保全やまちづくりが不十分であり、勧告をふまえたまちづくりを進めてほしい エ その他

ご意見 ()

■県政(国政・市政でもかまいません)について、また身近な問題について、ご意見・ご要望をお寄せください。地域の情報提供(県道がデコボコしているので修復してほしいなど)、何でも結構です。ぜひ早稲田夕季までお知らせください。厳しいご意見もどうぞ!

返信先 FAX : 0467-24-0573

早稲田夕季 政務活動事務所

ご協力まことにありがとうございます。

お手数ですが、この用紙を下記まで FAX していただけますようよろしくお願いいたします(お差し支えない範囲で下記にご記入してください)。

お名前	年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
ご住所	TEL						